

企業会計収支決算報告 (令和2年度)

市営バス

国運輸管理課 25-5141

市営バスは、毎日、多くの皆さんから通勤・通学・買い物などにご利用いただいておりますが、バス事業を取り巻く環境は依然として厳しく、交通手段の多様化、人口減少・少子化の進行などに加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、運送収益は大幅に減少しています。

今後も、皆さんに利用してもらえよう、より一層の利便性向上に取り組むとともに、信頼され親しまれる市営バスを目指していきます。

利便性向上への
取り組み

混雑回避のための
続行便の運行

地域連携ICカード導入
に向けた取り組み

バス車両の低床化

利用者数

令和2年度の市営バスの利用者数は、531万4,592人(1日平均1万4,561人)で、前年度と比較し、18.6%減少しました。

路線別営業成績

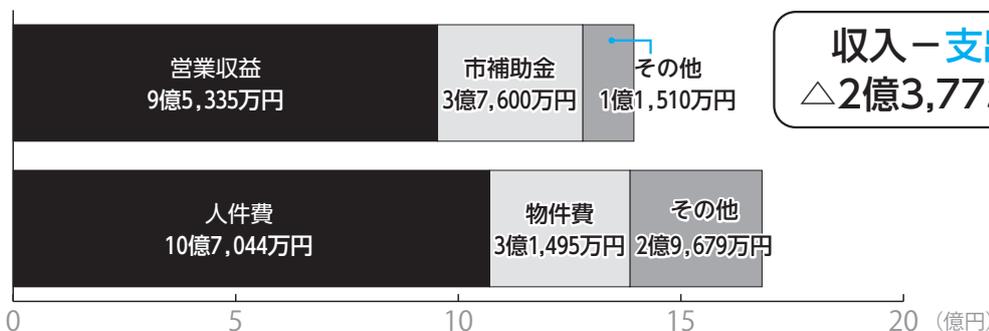
令和2年度の路線別営業成績は、15路線全てが赤字路線となりました。

市営バスの決算状況

収入は、バス利用者数の減少により、14億4,445万円(前年度比3.7%減)で、うち営業収益が9億5,335万円(前年度比10.3%減)となりました。支出は、16億8,218万円(前年度比4.1%増)で、うち人件費が10億7,044万円(前年度比6.4%増)、物件費が3億1,495万円(前年度比9.1%減)となりました。

この結果、収支決算は2億3,773万円の赤字となり、過去からの累積損益は2億165万円の赤字となりました。

収入
14億4,445万円

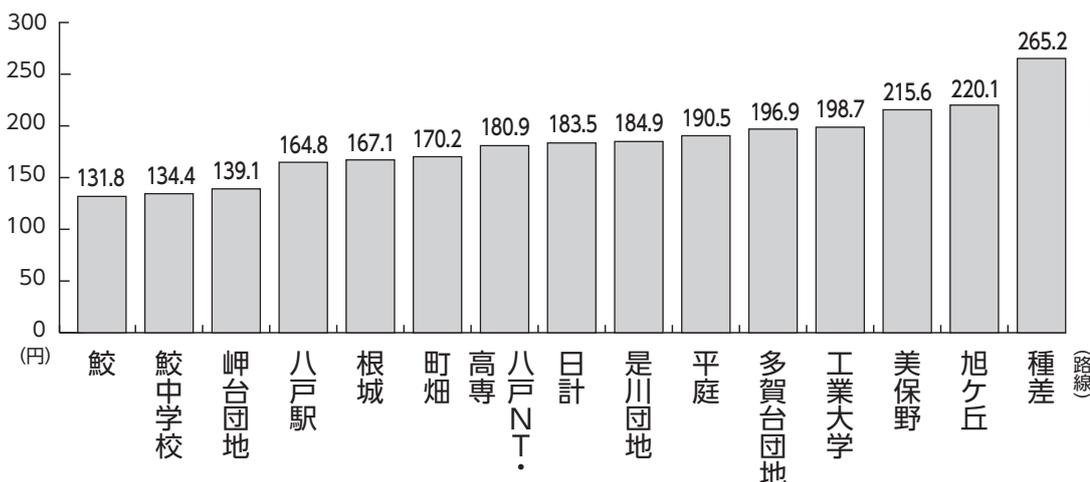


収入 - 支出 =
△2億3,773万円

支出
16億8,218万円



路線別営業係数



営業係数とは、100円の収入を得るためにかかる費用のことです。100未満なら黒字、100を超えれば赤字であることを表しています。



令和2年度の患者数は入院が延べ17万6,701人、外来が延べ23万5,039人で、令和元年度と比較して入院は1万4,038人の減、外来は9,336人の減となり、新型コロナウイルス感染症対策の影響もあり、一般病床の病床利用率も83.4%と令和元年度と比較して5.9%下がりました。

また、年間救急患者数は15,718人、手術件数は4,693件、分娩件数は1,022件と、多くの重傷患者や妊産婦を受け入れておりますが、令和元年度と比較すると手術件数を除き減少しています。

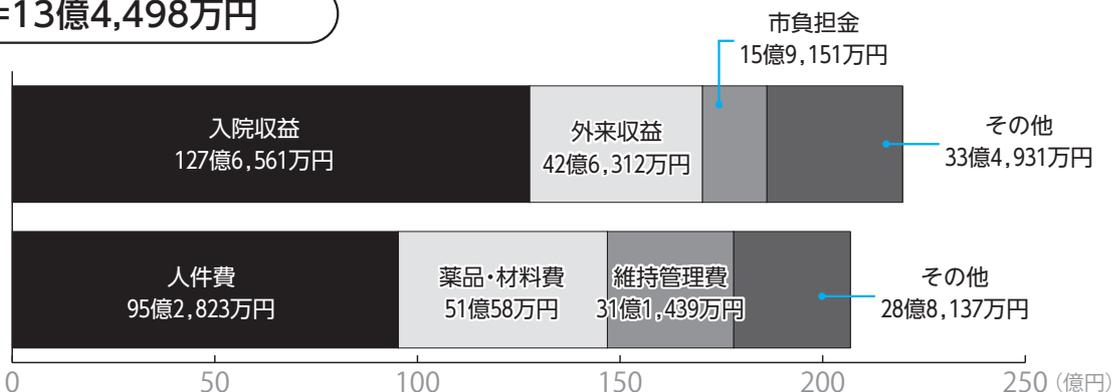
市民病院の決算状況

収支決算は、収入が219億6,955万円で令和元年度と比較して18億1,683万円の増加、支出が206億2,457万円で令和元年度と比較して14億113万円の増加、収支差引は13億4,498万円の黒字となりました。この結果、過去の赤字が累積された累積欠損金が解消され、6億3,077万円の利益剰余金を計上することができました。今後も健全経営を維持しながら、質の高い医療を提供していきます。

収入 - 支出 = 13億4,498万円

収入

219億6,955万円



支出

206億2,457万円



下水道

下水道事業は、令和2年度から公営企業会計として事業を運営しています。下水道では、ご家庭や工場などから排水される汚水を受け入れて、きれいな水へと処理しているほか、市街地に降った雨水を速やかに排水するなど、市民の皆さんの衛生的な生活環境の確保と浸水被害の解消に貢献しています。

下水道の決算状況

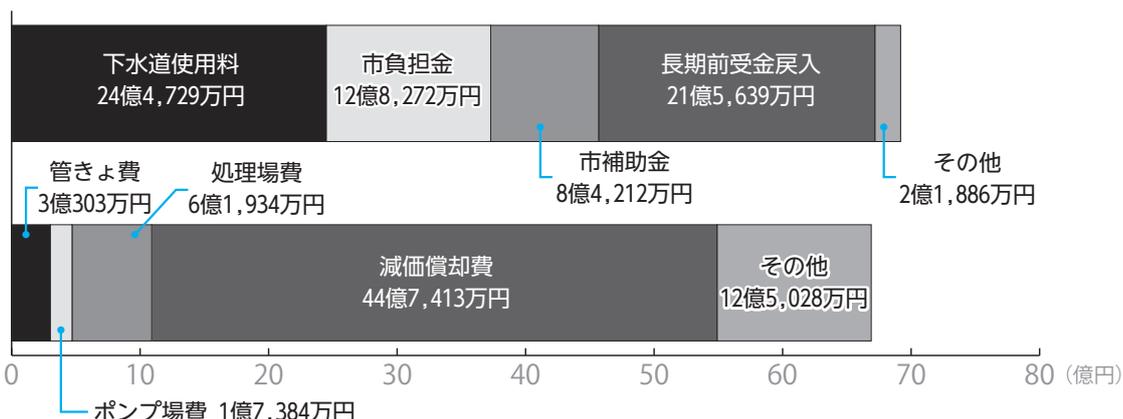
令和2年度に下水道で処理した総処理水量は2,165万4,836m³(およそ50mプール1万8,000杯分)です。汚水をきれいにするための費用や施設の維持管理費など、年間の事業運営費は総額68億2,062万円でした。

一方の収入は、皆さんからお支払いいただいた下水道使用料や市からの負担金・補助金など、総額69億4,738万円でした。この結果、収支決算は1億2,676万円の黒字となっています。

収入 - 支出 = 1億2,676万円

収入

69億4,738万円



支出

68億2,062万円

